

仮面ライダー監督が幻想入り

コロンKY

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

仮面ライダー監督の竹村コウイチはある日亡くなった。

そんな彼は突然現れた果物の神様によって異変が起こっている世界、幻想郷を救って欲しいと頼まれた。

ネオデイクイドライダー（一部使用変更）を与えられた彼は果実の神様の力によって幻想郷へ行くのだった。

※注意事項

オ리지ナなので実際の人物とは関係ありません。

竹村コウイチが監督をしたのは昭和ライダーまでとさせていただきます。

ネオディケイドライダーで使えるものは全昭和ライダーと全平成主役ライダー（オーマジオウは除く）のみです。令和ライダーは使えません。

作者はディケイドとジオウ以外はほとんどにわかなので勘弁してください。

ライダーの力は初めから解放されています。（※ただし平成の知識は無い）

まるでデコボコで、石ころだらけの小説ですが瞬瞬必生に書いているのでよろしければ見てみてください。

1
話

目
次

1

1話

竹村コウイチ、彼は仮面ライダーの監督だった。
彼はある日亡くなった。

その後の話である。

彼は不思議な空間にいた。

「俺は死んだ筈……」

と、彼が戸惑っている……

「俺が蘇らせた。」

と、姿は見えないが少年の声が聞こえた。

「君は!?!」

「……今の君には名乗れない。とりあえず果実神とでも呼んでくれ。………君に頼みたい事がある。」

「頼みたいこと？」

「『東方 Project』と言う世界に行つてその世界を救つて欲しい。」

「俺には世界を救う力なんてない。」

「これを君に託す。」

そう聞こえると彼の手元にあるものが現れた。

「これは……仮面ライダーのベルトか？だが俺が知つてると随分違うな。」

「これはネオデイクイドライバー。カードを使って様々なフォームに変身出来る仮面ライダーのベルトだ。これを使って『東方 Project』の世界を救つて欲しい。もちろん異変が終わればその世界で暮らすことになる。生憎ながら同じ世界には蘇生させられないからな。」

「……………わかった。やらせてもらう。」

「それじゃあさつそく送ることになるが……」

「心の準備はできている。」

「わかった。御武運を祈る。」

すると彼の視界は真つ白に染まるのだった。

◇

彼は幻想郷の見知らぬ森の中で夜中に目を覚ました。

「……ここが、幻想郷？別の世界と言ってもあまり変わらないな。」

と、彼が呟いた時だった。

辺りの草むらから『ガザガザ』と、音が聞こえてきた。

「誰かいるのか？」と彼が呟きかけた時に背後から何者かが飛び出してきた。

だが暗闇で何者かは見えない。

そんな何者かが彼に問いかけてきた。

「あなたは食べてもいい人類？」

「っ!？」

彼はその者が何者かはわからない上に敵意も感じられない。

だとするとコイツは人食いの怪人なのか？

と、彼は思いながらも冷静になって

「俺は食べられたくない人類だな。」と答えた。

「でも私、お腹空いてるから力づくで行くのだ！」

と、その者が言うのと突然弾幕が現れ彼に向かって攻撃を始めた。

「交渉決裂か。」

と、彼はため息を吐くとネオデイケイドライバーを腰に当てると自動で腰にベルトが巻きついた。

そしてベルトに付いていた銃の様なケース、ライドブツカーを開けると様々なライダーのカードが！

彼はカードを選ぼうとするがそんな隙は与えられなかった。

そして焦った彼は一番上のカードをドライバーに差し込んで変身した。

《カメンライド デイケイド》

た。
すると彼に18のライダーの影が重なって仮面ライダーディケイドとなったのだっ